



西眼科病院 〒537-0025 大阪市東成区中道4-14-26 TEL: 06-6981-1132
<ホームページ><http://www.nishi-ganka.or.jp> <e-mail>office@nishi-ganka.or.jp

白内障の症状と治療

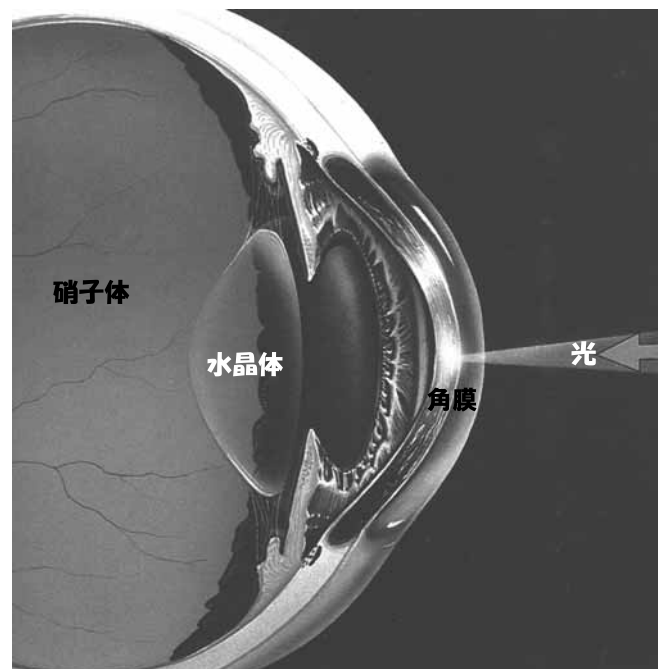
人の目は、よくカメラにたとえられますが、カメラのレンズに相当するのが水晶体です。水晶体は凸レンズの形をしていて、膜(囊)に包まれています。水晶体の中身は透明な組織でたんぱく質と水分から構成され、「皮質」と「核」にわかれています。正常な水晶体は透明で、光をよく通します。しかしさまざまな原因で水晶体の中身のたんぱく質が変性して、濁ってくる場合があります。これが「白内障」です。水晶体が濁ると光が通過できなくなったり、光が乱反射して網膜に鮮明な像が結べなくなり、視力が低下します。

白内障はさまざまな原因で起こりますが、最も多いのは加齢によるものです。個人差がありますが、誰でも年をとるにつれ、水晶体は濁ってきます。加齢性白内障は一種の老化現象ですから、高齢の人ほど多く発症します。最近ではアトピー性皮膚炎や糖尿病などの合併症として若い人の発症が増えています。その他、母親の体内で風疹に感染するなどが原因で生まれつきの場合、目のケガや薬剤の副作用から白内障を起こす場合もあります。

水晶体の濁り方はひとりひとり違うため、症状はさまざまです。本や新聞を読む時に目が疲れる。人の顔がボンヤリかすんでみえる。老眼鏡をかけてもはっきり物が見えない等の症状が現れてきます。視力が徐々に衰え、更に進行すると、目の前にかざした手の指の数も判らなくなり、ついには 明るい暗い しか判らなくなります。

日常生活に支障がない程度であれば、点眼薬や内服薬により白内障の進行を遅らせます。これらの薬剤は水晶体が濁るスピードを遅くするもので、水晶体の濁りを取り除き透明にする薬や方法はありません。日常生活に不自由を感じるようであれば、手術を行います。手術は現在、「超音波水晶体乳化吸引術」という方法が最も多く行われ、3ミリ位の切開から水晶体の濁った核と皮質を吸引し、残った薄い膜(水晶体囊)の中に眼内レンズを挿入します。手術は局所麻酔で行われます。手術時間は目の状態にもよりますが、一般的に10分～30分程度です。現在、白内障手術の著しい進歩により、体への負担が少なく、術後の回復が早くなり、従来のような入院をしなくてもよくなっています。また材質のよい眼内レンズも開発されています。

当院では日帰り手術でも入院手術でも最高のスタッフと設備を備えておりますので、安心して手術を受けていただけます。



受付からのお知らせ

当院では「予定制」を導入していますので、予定されてる方から優先的にカルテがまわります。9：00予定者の中でも、早く受付された患者さんから順番にお呼びし、次に9：15予定、9：30予定の患者さんとお呼びしていきます。そのため「予定なし」で来院された患者さんの順番は、(予定患者さんの)合間に入りますので、多少待ち時間がかかります。朝、早い時間に診察券を出されても、待ち時間がありますのでご了承ください。また急に眼の調子が悪くなって診察を御希望の場合でも、まず電話で予定を取られてから来院されることをオススメします。

LASIK（近視矯正手術）

「眼鏡やコンタクトレンズなしでよく見えたらいいなあ・・・」と思ったら、一度考えてみませんか？ 当院では、マスコミやスポーツ界で今話題のLASIK（レーシック）近視矯正手術を実施しています。少しでも御興味のある方は、説明会にお越しください。担当者が詳しく説明いたします。

説明会開催日：10月4日(土)・11月8日(土)・12月6日(土)の11：00より「西眼科病院5階 屈折矯正外来」にて開催します。詳しくは、当院ホームページまたは受付カウンター上のチラシをご覧ください。

年末年始休診のお知らせ

当院は12月29日(月)午後より2004年1月4日(日)迄、および1月5日(月)午後は休診いたします。誠に申し訳ございませんが、ご了承ください。なお休診前は大変混雑致しますので「薬」を御希望の方は早めにお電話ください。

8月より 渡部暁也(わたなべあきなり)先生が
着任されました。よろしくお願ひします(〜o〜)
外来診察担当医表は受付カウンターに設置しております。
ご自由にお持ち帰りください！

